令和９年度

国・県に対する要望事項

写真提供：国土交通省東北地方整備局能代河川国道事務所（種梅入口交差点）

令和８年７月

能代市
NOSHIRO CITY

当市の行政運営に対しまして、日ごろより格別のご配慮をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年度の要望につきましては、能代港を活用した地域振興等にご尽力いただき誠にありがとうございます。

当市では、第２次能代市総合計画において「子どもを生み育てやすい環境づくり」、「働く環境の向上と人材の確保」、「地域の特色を活かした産業のさらなる振興」を重点的かつ横断的な取り組みに位置づけ、各種施策を展開してまいりました。

人口減少が急速に進行する中、今後１０年間は当市の将来を大きく左右する極めて重要な時期であります。この最大の課題に対し、これまで以上に成果にこだわり、能代ならではの特色ある産業振興や、若者や女性に選ばれる地域づくりを推進することで、全世代が希望と幸福を実感できる能代を目指してまいります。

この要望事項は、能代港や高速道路等の社会基盤を最大限に活かし、当市が目指す「エネルギーのまちづくり」等と組み合わせ、新たな産業と雇用の創出や、市街地の活性化を図る上で大変重要な事項であり、これらの実現により能代市発展の新時代を切り拓き、元気な秋田につながるものと確信しております。

何卒、当市の事情をご賢察いただき、令和９年度の予算編成及び今後の施策展開に取り入れてくださるようよろしくお願い申し上げます。

令和８年７月

能代市長　　鍋　谷　　暁

要 望 事 項 一 覧

1．日本海沿岸東北自動車道の早期完成について　……〔 継 続 〕

2．洋上風力発電拠点化促進等のための能代港の機能強化について
……〔 継 続 〕

3．旧能代西高等学校用地における県営新産業団地整備について
……〔 継 続 〕

4．アーケードの大規模修繕及び撤去費用に対する補助制度の創設について
……〔 新 規 〕

〔 継 続 〕
建設部　道路課

日本海沿岸東北自動車道の早期完成について

洋上風力発電拠点化の整備が進められている能代港の利活用促進と県北地域の経済の更なる発展に向け、令和２年度より事業化となった種梅入口交差点の立体化、３年度より事業化となった荷上場地区交差点改良について進捗を図り、道路の速達性や定時性、安全性の確保を可能とする整備を要望します。

日本海沿岸東北自動車道北秋田今泉ＩＣから蟹沢ＩＣ間については、早期に高速交通ネットワーク形成が図られ、全線開通されるよう引き続き要望します。

【市担当部課　都市整備部　道路河川課】

〔 継 続 〕
建設部 港湾空港課
産業労働部 産業集積課、クリーンエネルギー産業振興課
観光文化スポーツ部 観光戦略課

洋上風力発電拠点化促進等のための能代港の機能強化について

能代港は、令和２年９月の港湾法に基づく基地港湾として指定され、県によるふ頭用地の拡張工事、国による岸壁整備及び地耐力強化工事により、洋上風力発電の拠点港として港湾機能強化していただいたことに対し、深く感謝申し上げます。

また、国内の洋上風力発電を先導し、商業運転を開始した能代港洋上風力発電所についても順調に稼働しており、関連施設の建設や地元資本によるアクセス船（ＣＴＶ）の運航、地域外からの視察者もあり、地域経済への波及効果も現れております。

一方で、今後の風力発電設備の大型化やプロジェクトの大規模化、さらには浮体式洋上風力発電の導入を見据えると、港湾機能強化の必要性はますます高まっていくと認識しており、港湾インフラのさらなる充実と利活用の促進が極めて重要であると考えております。

また、電力の安定供給に重要な役割を担う能代火力発電所においても、石炭運搬大型船の航行安全、安全な荷役、安定した物流を確保するため、港内静穏度の向上や水域施設の水深確保が必要不可欠であります。

さらには、クルーズにおいて、世界的な需要の高まりや船舶の大型化、寄港に伴うオーバーツーリズムの発生等、取り巻く環境は変化してきており、受け入れ先の多様化に向け、大型船が寄港可能な岸壁やクルーズターミナルの整備が重要であると考えております。当市では、県、秋田市、男鹿市と共に船社への誘致活動を行っているほか、県北地域で新たな魅力ある観光メニューづくりに連携して取り組んでいるところであり、船社からは、新たな地域の発掘のため、当地域に関心を持っていただいております。こうした状況下で、能代港の機能強化により受入環境が整うことで、クルーズ船の寄港数の増加、ひいては受け入れ港湾周辺の地域活性化が期待されます。

今後も当地域が一丸となって、北陸から北海道にわたる中心に位置する能代港を中心とした洋上風力発電の拠点化実現、クルーズ船の寄港実績による地域経済の活発化、秋田県北地域の持続的発展に取り組んでまいりますので、下記事項についてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

１．港湾の機能強化と利便性向上
- **大森地区小型船だまり移設計画の早期完了と移転後の埋立て着手**
- **港湾利活用企業のニーズに応じた岸壁・ふ頭の整備、港内静穏度向上等の機能強化**
- **公共耐震岸壁整備への着手**

２．洋上風力発電の拠点化実現への支援
- **風力発電設備の大型化・プロジェクトの大規模化と将来の浮体式洋上風力発電を見据えた港湾整備**
- **機能強化された能代港の利活用促進に向けた支援**

３．クルーズ船誘致のための環境整備
- **大型クルーズ船対応岸壁の整備**
- **クルーズターミナルの整備**

【市担当部課 環境産業部 エネルギー産業政策課、観光振興課】

〔 継 続 〕
産業労働部　産業集積課、クリーンエネルギー産業振興課

旧能代西高等学校用地における県営新産業団地整備について

地球温暖化による気候変動が世界的に様々な影響を引き起こしている中、日本において、２０５０年カーボンニュートラルが宣言され、企業の社会的責任として脱炭素経営に取り組む重要性が増してきており、ＣＯ２フリー電力のニーズはさらに高まると見込まれます。

一方で、現状では国内の再生可能エネルギーの導入量は少なく、電力の需要と供給は同時同量でなければならないこともあり、気候によって変動する太陽光発電や風力発電での確保には様々な課題があるものと認識しております。

こうした中、秋田県では、今年度に分譲予定の県営秋田市下新城地区工業団地において、先行的に再生可能エネルギーでの電力供給について検討が進められております。

当市においても、秋田県が旧能代西高等学校用地に再生可能エネルギーの活用を見据えた新たな産業団地を整備して分譲する計画を進めており、今年度は詳細設計等の予算を措置していただきました。

能代市は、風力発電をはじめとした再生可能エネルギー導入の先進地として注目されており、また、中国木材株式会社では１万キロワット級のバイオマス発電所を令和９年１月から稼働することとしております。これらの近隣の再生可能エネルギーを活用し、新産業団地への電力供給体制を構築できれば、先進的なモデルとして、全国での再生可能エネルギー導入拡大に寄与し、ひいては脱炭素社会の実現に大きく貢献できるものと考えます。加えて、ＧＸ戦略地域制度の活用により立地企業における脱炭素の取組を支援でき、付加価値の高い産業拠点として、地域に経済と環境の好循環を生み、地方創生につながることも期待できます。

新産業団地の基幹インフラでもあるアクセス道路の整備ついては、市が主体となって取り組むこととしておりますが、同団地の給排水、隣接の民有地確保、同団地への再生可能エネルギーの供給等については、秋田県と連携を図りながら進めてまいりたいと考えておりますので、下記事項について、ご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

１．旧能代西高等学校用地の県営新産業団地整備促進と連携強化

２．同団地における再生可能エネルギーの供給体制の構築

３．同団地への地域産業の核となる企業の誘致

【市担当部課　環境産業部　商工労働課】

〔 新 規 〕
産業労働部 商工業振興課

アーケードの大規模修繕及び撤去費用に対する補助制度の創設について

商店街アーケードは、商業活動を支える施設であると同時に、市民の通行空間として日常的に利用される都市基盤であり、来街者の快適性や回遊性の向上、中心市街地の景観形成を担うなど公共性の高い施設であります。

中小企業庁によると、アーケードの多くは商店街振興組合や商店会が所有するとされておりますが、人口減少の進行に伴う売上や店舗数、会員数の減少により、組合等の財政基盤は弱体化しており、アーケードの維持だけではなく、修繕・撤去に要する費用を捻出することも極めて困難な状況にあります。

こうした状況を踏まえ、老朽化が進行し安全性の確保が困難となっている商店街アーケードについて、以下の措置を講じられるようお願い申し上げます。

１．アーケードの大規模修繕及び撤去費用に対する国・県補助制度の創設

【市担当部課 環境産業部 商工労働課】